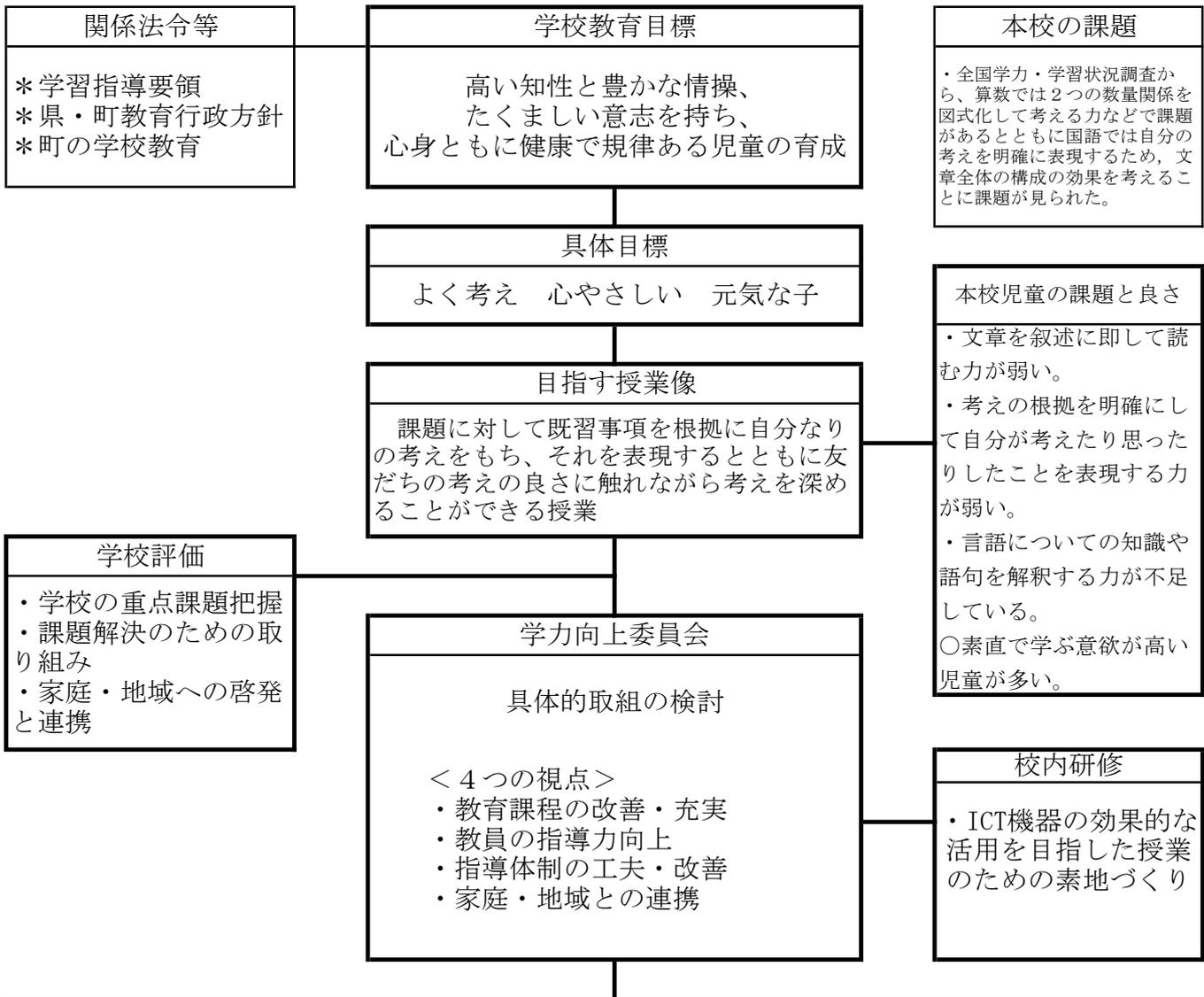


令和3年度 学力向上全体計画

甘楽町立福島小学校



取組の柱と内容			
教育課程の改善・充実	教員の指導力向上	指導体制の工夫・改善	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> 言語活動の充実を図るとともに、指導内容を精選する。 CRT II の実施後に実態把握を行い領域別で正答率の低い領域については継続的な指導の重点化を図る。 取組の見直しと改善を行い、基礎・基本の定着と活用力の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の効果的な活用を目指した授業のための素地づくりをする。 校内研修の中でもユニバーサルデザインの考えに基づいた児童が課題について思考・表現しやすい授業づくりを進め福島小スタンダード（問題提示→めあて→学び合い→まとめ→振り返り）の実践をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に困り感のある児童をピックアップし、「支援会議」で検討して、支援方法の改善や学校支援員等の効果的・弾力的活用を図る。 教科担当制の実施により、専門性を生かした魅力ある授業づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の具体的な内容や方法について保護者と共通理解を図り、学校と家庭が一体となって学力向上に取り組む。 家庭学習を、原則学年×10分と設定し、保護者に呼びかけ協力を得ながら児童の家庭学習習慣化の定着を促す。